

好生館だより

KOSEIKAN DAYORI

2013.3

第18号



佐賀県医療センター好生館（平成25年、イメージ図）

- ごあいさつ：理事長、館長……………①
- 好生館ニュース：好生館ボランティア20周年記念式典 ……①
- 診療科紹介：小児科、小児外科……………②
- 看護部だより……………③
- 豆知識：野菜を食べましょう……………④
- 知っていますか？検査の話：マイコプラズマ肺炎について ……④



病院全景（昭和52年）



病院本館（大正7年）

病院正門（明治34年）

県立治療院

- 健康講座：ワクチンで予防可能な疾患……………⑤
- 好生館のあゆみ……………⑤
- 新病院「佐賀県医療センター好生館」への移転について ……⑥
- 新任医師の紹介……………⑥
- 外来医師一覧表……………⑦



地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

〒840-8570 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号
 TEL 0952-24-2171(代表) FAX 0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>

ごあいさつ



理事長

十時 忠秀

新しい病院「佐賀県医療センター好生館」の建設に関わった、設計・監理の日建設計、施工者である竹中、松尾、中野、唐津土建の建設共同企業体と各下請け会社をあわせて、従事した人員は総勢で延べ約16万人、延べ労働時間数は約128万時間、と聞きました。

2010年10月6日の起工式から2012年12月20日の建物引渡し式まで約27ヶ月を要しました。大きな事故も無く「佐賀県ナンバーワンの病院」「患者さんが親しみやすく、温かみを感じていただける病院」「地球環境に優しい病院」を目指し建設いたしました。

このすばらしい建物を一生懸命建ててくださった多くの皆さんの汗とその働きを忘れません。

これから我々のなすべきことは、この建物にふさわしい1) 医療機能の充実、2) 患者さんにやさしい病院、3) 基幹災害拠点病院としての機能の充実を目指し、高度な医療を患者さんに提供することと考えています。

ごあいさつ



館長

樽木 等

新しい好生館病院が完成しました。4月19日に開院記念式典を、5月1日に患者さんの移動をもって開設日とし、5月7日を診療開始の開院日とし、新しい「佐賀県医療センター好生館」がスタートします。

古賀穀堂内覧「学政管見」を元に1834年「医学館」として医学教育が始まり、1858年鍋島公より「好生館」を拜命し、1896年「県立病院好生館」へと繋がった好生館ですが、水ヶ江の地での179年の幕を閉じます。

好生館には2つの理念があります。「学問ナクシテ名医ニナルハ覚束ナキ儀ナリ」、すなわち医療人として生涯教育の重要性です。そして好生館名に繋がった「好生ノ徳ハ民心ニアマネシ」で、生命尊重の理念で、色あせる事無い永遠のテーマです。

先人の医徳を引き継ぎ、歴史に驕る事無く、新たな歴史を創って行かねばなりません。素晴らしい医療環境に相応しい医療提供と医療の質向上を確保するように切磋琢磨しなければなりません。

県民の皆様と職員に愛される好生館をめざします。皆様の御支援御鞭撻をお願い致します。

【好生館ニュース】 『好生館ボランティア20周年記念式典』



看護部長

吉原 久美子

好生館ボランティア活動は、平成4年の発足から20年という節目を迎え、本年2月2日（土）に医療指導センターで「好生館ボランティア20周年記念式典」を挙行了しました。ボランティア発足以来、個人ボランティアとして登録された方は103名にのぼります。また団体ボランティアとして98団体にご協力いただいているところです。主な活動は外来患者さんへの総合案内、病棟の巡回図書、小児病棟での読み聞かせ、緩和ケア病棟でのひまわり喫茶や音楽会・花壇の手入れ等、多くの活動をしていただいています。

式典当日は、初代ボランティア代表の平川様はじめ48名の方々や、佐賀大学附属中学校はじめ3団体にご出席いただき、永年の活動に感謝を込め感謝状と記念品を贈呈させていただきました。「ボランティアのあゆみ」や「記念講演」では発足当時から現在までのボランティアの歴史とこれに携わってこられたみなさまの好生館への熱い想いと期待が伝わってきました。また、記念撮影や会食では職員を交え、新旧ともに楽しい思い出に残る時間を持つことができました。今年5月新病院に移転しますが、好生館の財産であるボランティア活動が多くの皆さんに支えられますます発展することを願っています。



【診療科紹介】小児科



部長
市丸 智浩

小児の特徴に配慮した、やさしい医療を心がけています。

小児科はこどもの内科的な病気を診療する診療科です。当館には小児外科がありますが、こちらはこどもの外科的な病気を診療します。成人の内科と外科の関わりに似ていますが、小児科の対象は新生児から16歳未満です。この原稿の

執筆時点では常勤医師数6名、それ以外に専門外来を各々月2回担当する2名を含めた3名の非常勤医師がいます。幅広い分野の疾患を診療し、感染症、呼吸器、循環器、血液、アレルギー、神経、代謝・内分泌、腎臓、新生児などなど、実に多岐にわたります。もちろん小児は成人のミニチュアではないので、疾患の特質も異なりますし、薬剤の量も成人とは異なってきます。さらにワクチンは特に小児期に多くのものを接種しなければなりません、基礎疾患を持つこどもにも積極的に接種するようにしています。

さて、スタッフは1名を除き、小児科専門医の資格を取得しており、さらにアレルギーや小児循環器、血

液など他の学会の専門医を持っているものもいます。それぞれの専門性を生かした専門外来も開設していますのでご相談ください。最近では小児の救急や、こどものこころの問題もまた大きなウェイトを占めるようになってきていますが、医師数の増加とともに、このような分野にもよりよく対応できるようになってきました。

入院に関しては開業の先生方からのご紹介の他、佐賀市休日こども診療所からの紹介、あるいは他の病院からの転院など、入院が可能な小児科として積極的に受け入れています。またこどもの検査は、協力が得られにくい、対象が小さいなど、成人に比べてより多くの時間と人手がかかりますが、なるべく苦痛を与えず、すみやかに終わるように心がけています。

新病院には佐賀県の医療計画に基づいた新生児集中治療室が整備され、また佐賀大学附属病院とも近くなります。それぞれの特性を生かして役割を分担しながら、より高度の医療を目指して行きたいと考えています。

【診療科紹介】小児外科



部長
生野 猛

1. 佐賀県立病院好生館の小児外科は佐賀県内で唯一の小児外科専門医の施設である。現在3名の小児外科医が勤務しているが2013年4月からはさらに1名の小児外科医が九大から増員され4名体制になる。小児外科の診療は毎週月、水、木が外来日で火、金曜日が手術日となっている

が小児外科での急患は平日に限らず休日、夜間いつでも受け入れ可能な体制としている。小児外科の扱う疾患としては小児の鼠径ヘルニアや急性虫垂炎、停留精巣、包茎などが多いが、その他に小児腫瘍や胆道閉鎖症、食道閉鎖症、鎖肛、横隔膜ヘルニアなどの重症疾患の手術も行っている。また一般の泌尿器科では敬遠されやすい先天性水腎症、膀胱尿管逆流症、尿道下裂といった小児泌尿器疾患も我々の得意とする分野である。小児外科の手術数は年々増加傾向にあり、2012年の年間手術症例数は514例であった。514例のうち125例が急患の手術で定期手術のほかに3日に1度の割合で緊急手術を行っていることになり(図1)、非常にハードな勤務であるが手術後に元気になって退院する子どもたちの笑顔に疲れも癒されている。

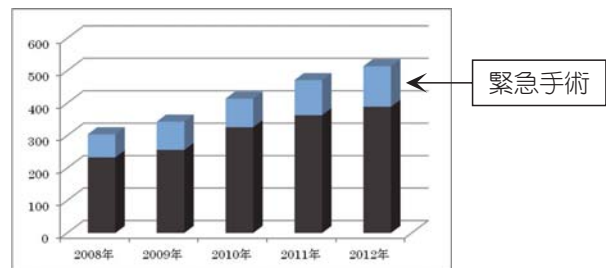


図1：過去5年間の小児外科年間手術数。手術総数は近年増加傾向にあり毎年全手術数の25~30%が緊急手術である。

2. 好生館小児外科ではこどもたちの心と体に傷の残らない手術を心がけている。小児鼠径ヘルニアや急性虫垂炎などでは腹腔鏡を用いた手術を行っており、メスで腹壁を切らないため侵襲も少なくまた手術後の回復も早く手術痕も全く目立たなくなっている(図2)。我々はこうした傷の残らない手術を「ステルス手術」と命名し、できるだけ多くの患者さんに応用できるように努力しているが、将来すべてのこどもたちの心と体に傷の残らない手術ができるようになることが我々の夢である。

図2. 小児の急性虫垂炎に対するステルス手術後：お臍からの手術であったが手術痕は全く見えない

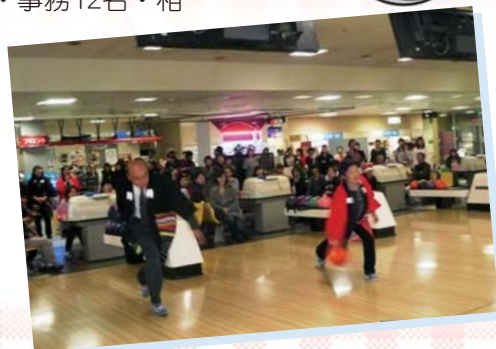


看護部だより

平成24年度好生館 ボウリング大会を開催しました。



平成24年11月30日(金)に全部署対抗のボウリング大会を行いました。参加者は、プレイヤー204名、応援者93名の総勢297名の参加で、看護部194名・医師28名・栄養14名・検査15名・MEセンター9名・リハビリテーション1名・事務12名・相談支援センター15名・新病院建設部7名・救命士2名でした。ストライクやスベアの度に歓声や拍手が沸き、ハイタッチなど楽しい時間を過ごすことができました。チーム賞は理事長杯として、個人賞は館長杯として、それぞれトロフィーと賞状と賞品が贈られました。勤務終了後の時間でしたが、リフレッシュと職員相互の親睦の機会になりました。



中村事務部長と
吉原看護部長による始球式

『自己血輸血看護師』 活動紹介



外来副看護師長
石田 福美

私は、平成24年2月から「自己血外来」を担当しております。

みなさんは「自己血輸血」という言葉をご存知でしょうか？ 輸血には、献血された他人の血液を使う「同種血輸血」と予め自分の血液を貯めておいて使う「自己血輸血」があり、その行為を貯血といいます。同種血輸血では十分な検査をしても感染症など起こす可能性があります。自己血輸血では自分の血液の為そのような危険性はありませぬ。好生館では、患者さんが安心して手術に臨んでいただくため『自己血外来』を開設

しました。

自己血外来は火曜・木曜日の午後から完全予約制で、自己血責任医師の診察後に貯血を実施します。

患者さんに十分に説明を行い安心して貯血を受けていただきます。また、貯血業務を標準化することで患者さんの待ち時間の短縮につながります。現在は泌尿器科と整形外科で実施していますが、今後は全診療科で実施できる体制を考えています。私は、自己血学会認定の『自己血輸血看護師』の資格を取得し、学会基準に沿って安全に貯血できるようになりました。貯血する量は献血と同じで、熱や下痢等の症状がないときに週1回400mlを貯えます。患者さんの状態や手術の方法により異なりますが、手術の数週間前から2~3回に分けて400~1,200ml程貯えます。「自己血輸血」のメリットのひとつとして、手術に臨む患者さんが貯血することによって治療に対して前向きな気持ちが芽生えたとされています。患者さんから協力していただいた血液や気持ちを無駄にしないようために、安全で確実な自己血輸血が提供できるようにしていきたいと考えています。



豆知識 野菜を食べましょう



栄養管理部
榎 美紗子

ビタミン・ミネラルや食物繊維など、体にうれしい栄養素がたっぷり含まれている野菜。厚生労働省の「健康日本21」では、野菜の摂取量の目標を1日で350g以上としています。これは、小鉢に入る程度の野菜料理5皿分に相当します。しかし、実際の日本人の平均摂取量は277g（平成23年国民健康・栄養調査結果より）。そこで、野菜をたっぷり食べる工夫をご紹介します。

- ・葉物野菜は煮たり、茹でたり、炒めたりと加熱することにより"かさ"が減り、量を多くとることが出来ます。煮るとやわらかくなるので消化がよくなったり、炒めるときに使う油はカロテンの吸収を手伝ったり、という利点もあります。味噌汁の具にたっぷりの野菜を入れることでも手軽に野菜をとることができます。
- ・すぐに食べられる野菜を冷蔵庫に常備しておくとう便利です。例えばトマトやレタス、きゅうりなど。洗って切るだけで食べられるので、簡単に野菜を1品追

加できます。

- ・食べ方の工夫としては、朝食を抜いたり、まとめ食いをしないことをおすすめします。350g以上のたっぷり野菜も3食に分けて食べる方が1回の量が少なくてすみます。ちなみに、外食で食べるとんかつの付け合せのキャベツ、多く見えますが30~50gくらいが普通です。
- ・野菜が不足しがちな外食では、メニューの選び方にも一考を。麺類や丼物などの単品メニューより、定食を選んだり、野菜料理の小鉢を追加することもおすすめです。また、買って食事をすませる時は、おにぎりやパンだけでなくサラダやお浸しなどの野菜料理もお忘れなく。

少しの心がけで食べる野菜の量を増やすことができます。ご自分に合った工夫で野菜をおいしくたくさん食べましょう。



知っていますか？ 検査の話 マイコプラズマ肺炎について



検査部
香月 万葉

最近、インフルエンザの流行がとりざたされていますが、細菌の一種であるマイコプラズマによる肺炎（マイコプラズマ肺炎）も近年増えています。以前は、マイコプラズマ肺炎の流行年と夏季オリンピックの開催年が同じだったため「オリンピック病」と呼ばれていましたが、現在では、毎年のように流行がみられます。5~12歳の子供が感染しやすく、幼稚園や小学校などで流行します。症状は風邪に似ていますが、咳の症状が長く続き、1ヶ月以上持続する場合があります。

一般的な細菌は、細胞壁というものを持っているため、細菌に感染した場合は、この細胞壁を壊す薬が広く使用されています。しかし、マイコプラズマには細胞壁が存在しないので、このタイプの薬が効きません。

そのため早い段階で診断し、適切な薬を投与する必要があります。

検査方法としては、鼻水などの培養を行う方法がありますが、結果がでるまで数日かかります。そこで、血液中のマイコプラズマに対する抗体を調べる検査があります。この検査は短時間で結果が得られるため、診断に用いる施設が増えてきています。

マイコプラズマ肺炎に対して、家庭で出来る予防としては、十分な睡眠をとること、バランスのとれた食生活、手洗い・うがいを行うことです。また一度感染しても終生免疫ではないので、何度も感染する場合があります。長く咳が続くなど、症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみてもうでしょうか。



ワクチンで予防可能な疾患



感染制御部長
福岡 麻美

世界にはたくさんの病気がありますが、そのなかにワクチンで予防可能な疾患（Vaccine Preventable Diseases: VPD）があります。VPDには表1に示すような疾患があり、これらに対する予防接種は、感染症対策の基本のひとつです。

日本は医療先進国ですが、予防接種に関してのレベルは低く、「ワクチン後進国」とされています。ここ数年国内で新しいワクチンの導入が図られていますが、欧米ですでに予防接種スケジュールに組み込まれているワクチンが日本では依然として未承認であったり、無料で接種できる定期接種に含まれていないのが現状で、これらの差は「ワクチン・ラグ」、「ワクチン・ギャップ」と言われています。

予防接種は小児だけの問題ではありません。近年若年成人の間でも麻疹、百日咳、風疹の流行がみられ、成人への予防接種の必要性も高まっています。

予防接種は子供たちのみならず人々の健康を守るための重要なツールですが、成人の方にご自分の予防接種歴を尋ねても、覚えていない人が大部分です。予防

接種の記録や感染症の罹患歴は、自分自身の大切な情報として把握しておくことが望まれます。予防接種の履歴は母子手帳に記録されおり、佐賀市医師会と佐賀市などは、2011年より成人を機に親から子に母子手帳を贈る取り組みを始めています。将来的には小児科、保育園・幼稚園・小中高等学校、行政などが協力し、これらの情報をデータベース管理し、個人が必要な時に確認できるようなシステムの構築ができればと思います。

【表1 ワクチンで予防可能な主な疾患】

（*日本では一般の医療機関では接種不可）

| | | |
|----------|---------------------|----------------------|
| ・A型肝炎 | ・日本脳炎 | ・髄膜炎菌感染症* |
| ・B型肝炎 | ・麻疹 | ・ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症 |
| ・インフルエンザ | ・風疹 | ・黄熱* |
| ・結核 | ・流行性耳下腺炎 | ・狂犬病 |
| ・ジフテリア | ・水痘 | ・コレラ* |
| ・破傷風 | ・ロタウイルス感染症 | ・腸チフス* |
| ・百日咳 | ・肺炎球菌感染症 | ・天然痘(根絶済み)* |
| ・ポリオ | ・インフルエンザ菌b型(Hib)感染症 | |



副事務部長
大木 夏雄

好生館のあゆみ - 更なる飛躍を目指し、第4ステージへ -

『好生館』という名称は、1858年（安政5年）、それまで佐賀市八幡小路にあった医学寮を、佐賀市水ヶ江（現病院所在地）へ移転するに際し、鍋島直正公より『好生館』と命名されたものに由来しています。これは、中国の書経にあります『好生の徳は民心にあまねし（人の生命を大切にす徳を万民にゆきわたらせる）』からとられた言葉です。好生館のあゆみは、その名称の誕生までを含め、3つの時期に大別しています。

第1期：蘭学の勃興から好生館設立まで

第2期：好生館誕生から佐賀県立病院好生館へ

第3期：佐賀県立病院好生館誕生から現在まで

第1期においては、1781年好生館の前身である藩校『弘道館』が設立され、弘道館教授の古賀穀堂が、1806年（文化3年）に『学制管見』を著わし、この中で、医学教育の必要性を訴え、好生館の設立の理念の一つである『学問ナクシテ名医ニナルハ覺東ナキ儀ナリ』と述べています。1830年（天保1年）鍋島直正公が第10代藩主となり藩政改革に乗り出し、1834年（天保5年）

医学館の創設、1849年（嘉永2年）の全国に先駆けた種痘の実施、1851年（嘉永4年）佐賀藩医業免札制度を発足（全国に先駆けた医師免許の発行です）させるなど、佐賀藩を時代の最先端へと導いています。

第2期においては、1858年（安政5年）、鍋島直正公よりそれまでの医学寮を『好生館』と命名され、好生館の歴史が始まります。明治になっても好生館はその機能と、理念を引き継ぎ、多くの外国人教師を招くなど、全国トップレベルの教育と医療を提供していました。

第3期においては、1896年（明治29年）、現在の名称である『佐賀県立病院好生館』となり、以後、佐賀の医療を担う地域の中核病院として、医療教育と医療提供の役割を果たし、また、2010年（平成22年）には地方独立行政法人化し、病院運営においては順調に推移し、現在に至っています。

そして、本年5月、好生館は永年に渡る佐賀市水ヶ江から西へ約4キロメートル離れた佐賀市嘉瀬町へ移転し、病院の名称も『佐賀県医療センター好生館』に変更します。第4ステージといえるスタートが間近です。飛躍を目指し、一層努力していきたいと思っています。

新病院「佐賀県医療センター好生館」への移転について



新病院建設部長
川崎 真澄

今年度も終盤となり、新病院の建設工事もほぼ完成に近づいています。研修棟（6階建：1～3階…研修エリア、4～6階…研修生宿舎エリア）、保育所棟、職員宿舎、院外薬局、外構の工事もほぼ終了し、3月末には全ての工事が完了する予定です。また、移転準備の作業も5月7日（火）の「佐賀県医療センター好生館」開院に向けて、詰めの段階に入っているところです。

新規購入の医療機器については既に搬入済みで、現在は新規の什器・備品の搬入がほぼ終わる時期となっています。その他、現病院から移設する医療機器や什器・備品類については、主に下記スケジュール表の休診期間を活用して移設し、開院に備えることとしています。

■移転前後の診療等のスケジュール

| 項 目 | | 現病院 | | | | | 新病院 | | | | | | | | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------|
| | | 4月 | | | | | 5月 | | | | | | | | |
| | | 26 (金) | 27 (土) | 28 (日) | 29 (月) | 30 (火) | 1 (水) | 2 (木) | 3 (金) | 4 (土) | 5 (日) | 6 (月) | 7 (火) | 8 (水) | |
| 1 外来休診 | ○診察日 ×休診日 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | (休診10日間) |
| 2 救急外来休診 | ○診察日 ×休診日 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (休診2日間) |
| 3 予定手術停止 | ○施術日 ×停止日 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | (予定手術停止10日間) |
| 4 患者移送日 | | | | | | ◎ | | | | | | | | | (5月1日) |

これからは、電子カルテシステムを中心とした医療情報システムの設定整備と動作確認作業、5月1日（水）の患者移送に向けた最終段階の打合せとシミュレーション及び入院患者の皆様への説明と関係者協議などを十分に実施し、確実な患者移送と移転業務が円滑に進むように、より詳細な計画作りと意思疎通を図りながら新病院への移転に臨むこととしています。

また、4月19日（金）には、招待者内覧会と記念式典を予定してしますが、招待者内覧会の前の12時30分から新病院のエントランスホールでオープニングの記念コンサートを予定しており、一般の方にも観賞していただきたいと考えています。また、一般の方の内覧会を4月20日（土）10:00～16:00（受付は15:30まで）で開催する予定です。ご来館ください。

新病院「佐賀県医療センター好生館」は佐賀県の中核的医療機関としてまた基幹災害拠点病院として、これまで以上のより充実した医療の提供ができる病院となりますので、皆様ご期待ください。



病院全景（H25.2.7）



エントランスホール（ステンドグラス）

新任医師 の紹介 (平成25年1月1日～)



消化器外科 医長
姉川 剛

- ・日本外科学会専門医
- ・日本消化器外科学会専門医
- ・日本がん治療認定医
- ・消化器がん外科治療認定医

外来医師一覽表

(平成25年3月1日現在)

| 区 分 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | | | | |
|---------|----|-------------------------------|-----------------------|--------------------------------|-------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------------|------------------------|
| 内科 | 午前 | 新患 | 1・3週 2・4・5週 | 権藤 久司 | 土居 隆志 | 吉村 達 近藤 誠司 | 土居 隆志 | 松石 英城 吉村 達 | | | |
| | | 呼吸器 | 新患 再来 | 中島 千穂 森塚 達也 | 岩永健太郎 中島 千穂 | 森塚 達也 岩永健太郎 | 岩永健太郎 中島 千穂 | 森塚 達也 岩永健太郎 | | | |
| | | 肝臓・胆のう・膵臓 | | 大座 紀子 大塚 大河 | 秋山 巧 | 川添 聖治 大塚 大河 | 川添 聖治 | 大座 紀子 秋山 巧 | | | |
| | | 消化器(胃・腸) | | 富永 直之 | 緒方 伸一 | 渡邊 聡 | 緒方 伸一 | 富永 直之 | | | |
| | | 血液 | 新患 再来 | 近藤誠司/久富 崇 松石 英城 | 松石 英城 久富 崇/権藤久司 | 近藤 誠司 松石 英城 | 近藤 誠司 久富 崇/近藤誠司 | 久富 崇 権藤 久司 | | | |
| | | 腎臓・透析 | | 大塚 伸 | 中村 恵 | 松石 英城 | 久富 崇/近藤誠司 | 権藤 久司 | | | |
| | | 糖尿病内分泌 | | 土居 隆志 | 吉村 達 | 土居 隆志 | 大塚 伸 | 中村 恵 | | | |
| | | 腫瘍内科 (再診・院内コンサルト) | | 嬉野 紀夫 | 嬉野 紀夫 | 嬉野 紀夫 | 嬉野 紀夫 | 嬉野 紀夫 | | | |
| | | 感染症 (再診・院内コンサルト) | | 福岡 麻美 | 福岡 麻美 | 福岡 麻美 | 福岡 麻美 | 福岡 麻美 | | | |
| | | 膠原病・リウマチ (第2・4金 14:00~) | | | | | | 多田 芳史 | | | |
| 外科 | 午前 | 消化器・一般 | 新患 再来 | 田中 聡也 廣橋 喜美 | 手術 | 田中 雅之 佐藤 清治 | 手術 | 廣橋 喜美 総回診 | 隅 健次 手術 | 佐藤 清治 田中聡也/田中雅之 手術 | |
| | | 乳 腺 | | | 手術 | 白羽根健吾 | 手術 | 白羽根健吾 | | | |
| | | 呼 吸 器 | | | 光岡正浩/寺崎泰宏 | 手術 | 光岡正浩/寺崎泰宏 | 手術 | 白羽根健吾 | | |
| | | 小児外科 | | 生野 猛/田口匠平 | 手術 | 吉丸耕一朗 | 手術 | 生野 猛/田口匠平 | 手術 | | |
| 眼 科 | 午前 | 担当医 (新患のみ) | 手術 | 古賀 隆史 頼田 圭輔 河田 康祐 | 手術 | 荒木 理子 担当医(新患のみ) | 手術 | 古賀 隆史 福永由起子 頼田 圭輔 | 手術 | 古賀 隆史 福永由起子 河田 康祐 | |
| | | 産婦人科 | 午前 | 安永 牧生 八並 直子 | 安永 牧生 小野 剛史 宮田 早織 | 手術 (急患のみ担当医) | 八並 直子 小野 剛史 | 手術 (急患のみ担当医) | 安永牧生/宮田早織 | 手術 (急患のみ担当医) | |
| 小児科 | 午前 | 市丸 智浩 熊本 愛子 荒木 薫 | | 西村 真二 力武菜穂子 荒木 薫 | | 市丸 智浩 西村 真二 栗並 樹里 | | 市丸 智浩 力武菜穂子 荒木 薫 | | 西村 真二 磯村 直子 荒木 薫 | |
| | | 午後 | アレルギー外来 /予防接種/乳児健診 | | 予防接種 | | 予防接種/ アレルギー外来 | | アレルギー外来 1ヶ月検診 | | 予約外来 |
| | | 午後(時間外) | | その日の担当が診察します。 | | | | | | | |
| 耳鼻いんこう科 | 午前 | 手術 | | 宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友 | | 手術 | | 宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友 | | 宮崎 純二 恒富 日子 松下 英友 | |
| | | 皮膚科 | 午前 | 武下 泰三 北 和代 | 武下 泰三 北 和代 | 武下 泰三 北 和代 | 手術 | 武下 泰三 北 和代 | 手術 | 武下 泰三 北 和代 | |
| 泌尿器科 | 午前 | 徳田 倫章 諸隈 太 内野 洋志 李 賢 | | 徳田 倫章 内野 洋志 李 賢 長沼 英和 | | 手術 | | 徳田 倫章 諸隈 太 李 賢 長沼 英和 | | 諸隈 太 内野 洋志 長沼 英和 | |
| | | 整形外科 | 午前 | 前 隆男 竹内 直英 | 前 隆男 佛坂 俊輔 (新患) | 手術 | 前 隆男 佛坂 俊輔 佐々木宏介 | 手術 | 前 隆男 佛坂 俊輔 (新患) | 手術 | 前 隆男 竹内 直英 佐々木宏介 |
| 放射線科 | 午前 | 外傷整形外科 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 上森 知彦 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 | |
| | | 関節・一般整形外科 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 上森 知彦 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 | |
| | | 脊椎外科 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 上森 知彦 | | 川口 謙一 | | 川口 謙一 | |
| | | 午後 | 予約再来 | 予約再来 | | 予約再来 | | 予約再来 | | 予約再来 | |
| 放射線科 | 午後 | 消化管診断外来 | | | | 梶原 哲郎 | | 梶原 哲郎 | | | |
| | | 画像検査部門外来 | | 野尻 淳一 (眞武 邦茂) (梶原 寿浩) | | 川野 倫作 (野尻 淳一) (梶原 寿浩) | | 眞武 邦茂 (川野 倫作) | | 川野 倫作 (野尻 淳一) (梶原 寿浩) | |
| | | 消化管造影 | | 梶原 哲郎 | | 梶原 哲郎 | | 眞武 邦茂 | | 梶原 哲郎 | |
| | | 放射線治療 | | 渡辺 哲雄 | | 渡辺 哲雄 (徳丸直郎：午後) | | 渡辺 哲雄 | | 渡辺 哲雄 | |
| 脳神経内科 | 午前 | 新患 再来 | 関 賢太 高島 洋 | | 高島 洋 | | 関 賢太 岩崎めぐみ | | 岩崎めぐみ 高島 洋 | | |
| | | 午後 (14:00~16:00) | | | | | パーキンソン病 外来(予約制) | | | | |
| 脳神経外科 | 午前 | 坂田 修治 萩原 直司 | | 萩原 直司 | | 坂田 修治 高口 素史 | | 手術 | | 坂田 修治 高口 素史 | |
| | | 精神科 | 午前 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | 植木 裕司 | |
| 循環器内科 | 午前 | 貞松 研二 塩見 哲也 | | 吉田 敬規 岡原 有秀 | | 吉田 敬規 白濱 尚治 | | 古閑 靖章 | | 林田 潔 塩見 哲也 三根 大悟 | |
| | | 不整脈外来 | | 永元 康嗣 | | 永元 康嗣 | | | | | |
| 心臓血管外科 | 午前 | 手術 | | 内藤 光三 村山 順一 | | 手術(午前中のみ 紹介・予約：樽木等) | | 内藤 光三 村山 順一 | | 手術 | |
| | | 緩和ケア科 | 午前 | 小杉 寿文 濱田 献 | | | | 小杉 寿文 濱田 献 | | | |
| 人間ドック | 一般 | 脳ドック | | 井之口香映子 高島 洋 | | 井之口香映子 坂田 修治 | | 権藤 久司 | | 井之口香映子 高島 洋 | |
| | | 心臓ドック | | | | | | | | 樽木 等/林田 潔 | |